

-----5月6日-----

※ 今週のアウトルック (5/6~5/10)

先週は米国雇用統計を中心としたマクロ指標や、ECBなどの要人発言に振り回される週となりました。

週末には、米国雇用統計の予想外の好結果を受けて円安が進んでいます。

今週は米国雇用統計の好結果の流れを引き継いで、レジスタンスブレイクを経て円安が進むのか、それとも再びレジスタンスブレイクできずに戻されてしまうのか。見方が分かれるところだと思います。

ドル円は先週、米国雇用統計の結果を悲観して、週初は円高気味に推移していましたが、週末には米国雇用統計の予想外の好結果を受けて、再び100円のレジスタンスにトライする勢いを見せています。

今週にも一度100円のレジスタンスをブレイクする場面はあるかもしれませんが、そのまま上昇トレンドを継続する可能性は、それほど高くはないのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは96円から101円です。

ユーロは、ユーロドルの今後のほうがさらに読みづらくなってきました。テクニカル的には上昇トレンドに入りかけていたのですが、今週も予期せぬ要人発言やマクロ指標の悪化には注意が必要です。

ユーロ円も今週、一度は132円付近のレジスタンスをブレイクする場面も、あるかもしれませんが、そのまま上昇トレンドに乗っていく可能性は少ないのではないかと考えています。

ユーロ円の予想レンジは127円から134円です。

ポンド円は154円のレジスタンスをブレイクして、週末を迎えています。もう少し上昇トレンドが続くかもしれません。

ポンド円の予想レンジは150円から157円です。

今週は円安トレンドが幾分強くなりそうですが、水をさすような要人発言には、十分注意が必要です。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。